

審査の拂下げをうけ同時に移轉建築費の一部として二千圓の補助を仰がうといふ事になり代表者として伏見町長外数名が出縣陳情した結果平警察署演武場移轉、土木監督所の向替えの費用として計上してある二千圓のうち千三十六圓は入用の筈であるが残り九百余圓は不用であるか

明日から開場する  
下ボヌタ

平町元石城郡役所會議室で事務を執つてゐる各種團体では平警察署が移轉されるので立退かねばならず場所に困つた結果舊警察署の拂下げをうけ、同時に移轉建築費の一部として二千圓の補助を仰がうといふ事になり代表者として伏見町長外教名が出縣陳情した結果平警察署演武場移轉、土木監督所の向替えの費用として計上してある二千圓のうち千三十六圓は入用の筈であるが残り九百余圓は不用であるか延期となつた。

公金預金委員會延期

石城郡町村公金預金委員會は二日盤銀預金に關して協議會を開く筈であつた緊縮打合せの石城町村長會議がおそくなつたので

舊都察署本舖は團体に無償拂下委員の陳情成直ちに移轉工事に着手

入賞者六十七名

轉、土木監督所の向替えの費用として計上してある二千圓のうち三十六圓は入用の筈であるが残り九百余圓は不用であるか延期となつた。

金預金委員會延期

平町元石城郡役所會議室で事務ら建物と残金九百余圓を吳れる  
を執つてゐる各種團体では平磐といふ事になつたので委員一行  
察署が移轉されるので立退かねは大満足で歸平した。各種團体  
ばならず場所に困つた結果舊警では直ちに醸金し元石城郡役所  
察署の拂下げをうけ同時に移轉東空地に移轉する筈で工事に着  
建築費の一部として二千圓の補助をする事になつた。

小賓大數網

◎包裝紙 ▲一等松月菓子店  
（平）▲二等谷質店（若松）マス  
キン菓子店（福島）▲三等鶴屋  
洋品店外六名

五夕  
日刊  
**新嘉坡晚報**

福島縣發行人人岡田弘成  
福島縣石城郡平町細屋町十四  
印 刷 所 加納活版所  
福島縣石城郡平町細屋町十五  
發 行 所 福城時報社  
一部金貳錢一ヶ月金參拾錢  
廣告料一元十四字詰金五十錢  
日刊(日晚、祭日)休刊

た其直後認可になつたので石城各濱の漁業組合が擧げて反対をなしたが、この大敷網は極めて不漁で投網後觸を若干捕獲したのみでとても收支が償はず一先づ漁獲を中止する事になつた、

原町通 羽二重會社 下

# 信運動なるまい

段落を告げたる觀あるも遅き  
は目下取引中なるが昨今の醣  
價は品薄ながらも六十圓代と  
なりたるを以て一般養蠶家は  
大に活氣を呈し晚秋蠶の如き  
は秋蠶原種よりも三四割方多  
く掃立を爲したれば從つて桑

平町南町平看護婦會清野きよ會りその旨植田署に届け出てたが長宅に三日午前八時頃年齢二十四歳位の男が来て「私は山田村安島重藏の使ひで看護婦を頼みに來た」といふので清野會長は看護婦佐藤ミヨ(二一)を派遣する事となり午後七時その男と一緒に出かけたが途中「病人の買物をして金を費ひ過ぎたから家に行くまで十圓を貸して貰ひ度い」と言つて看護婦から借り受け平驛に至つた處佐藤ミヨは急に氣分が悪くなつたので代りに橋本カタ(二二)を呼びよせ七時平驛發列車で兩名が植田町に下車し片岡醫師の患者であるといふので醫院前まで來り「車を頼んで来る」と言つて看護婦を置き去りにして立去つたまゝ何時まで待つてゐても戻つて來ないので始めて詐欺にあつた事が判婚したいと願ひ出でゝきた。

▲銀行臨時休業 石城  
郡銀行組合では七日平町縣社子鍬倉神社祭典が執行されるので祝意を表すため臨時休業する

△妻を虐待 平暑にすがる

平町新川町高平新藏(三八)は耳の遠い妻イトを非常に虐待するのでイトは堪え兼ね二ヶ月程前から平町十五町目織田材木店に厄介になり別居してゐるが、新藏はイトと別居後情婦を引き入れてゐるらしいのでイトは三日平警察署人事相談所に出頭し離

金を捲きあげて逃走  
巧妙な詐欺漢現は

當分中止する。漁業組合經營する。

◎包裝紙	▲一等松月菓子店	同大敷網は鳥取縣の奥田貴族院
(平)▲二等谷質店(若松)マス	議員が出資者となつており投網	するまでには運動費その他を合
キン菓子店(福島)▲三等鶴屋	せて十萬圓を下るまいと言はれ	てるたのに、この不漁で漁業組
洋品店外六名	てるたのに、この不漁で漁業組	合でも頭を悩ましてゐるが網は
◎帳簿 大村屋旅館(平)外四名	するまでには運動費その他を合	

編輯兼發行人 阿田 弘成  
印 刷 人 阿田 弘成  
福島縣石城郡平町細屋町十四  
印 刷 所 加納活版所  
福島縣石城郡平町細屋町十五  
發 行 所 稲城時報社  
一部金百錢 一ヶ月金參拾  
廣告料 一行十四字詰金五十錢  
日 刊 (日曜、祭日) 休刊

た其直後認可になつたので石城各濱の漁業組合が擧げて反対をなしたが、この大敷網は極めて不漁で投網後鰯を若干捕獲したのみでとても收支が償はず一先づ漁獲を中止する事になつた。

料金五十錢徵收されしを金二十錢に低下する事。の三ヶ條件を白石營業所主任に提出し交渉中の處二日午後に至り同會社より全部拒絕する旨回答ありたれば組合側としては非常に憤慨し、吾々の要求を一つも容れぬならば當方でも同町の点燈需用者全部と協力し供給規定に準する料金までに値下斷行の運動を起し一方遞信省に向つてメータ一検査の躊躇を爲し目的達成するまで奮起せんと敦闡説會を開催する計劃中だが會社側と需者用間との一大抗爭が演

用に付き字体見技術員をして實際を調査せしめたるに矢張電力費経減を斷行するより外なきものとして組合員は全部メートルに變更して電力使用料の値下を行すべしと組合長は左の三個條を會社に提出した。

相馬郡小高町羽二重機業者より  
成る輸出織物工業組合にては羽二重  
機業者が今春以來相場低落の爲電力料と比較し採算台  
どありて今回役員會を開き之れが善後策を講じたる結果電力使  
用に付く生産技術員にて、

原町  
羽二重會

石城郡大浦村大字上仁井田深澤に至り驛前旅館で一夜を明かし寅一二八は妻と二人の子供を持つてゐる男であるが、去る八月十九日午前八時頃同村四倉製糸場の女工田村郡小野新町生れ山本サダ子十八を連れて駆落したので妻ナツは途方に暮れ調査した處サダ子の郷里小野新町と。た後の行衛が判明しないが、數日前の夜四倉海岸を二人で徘徊してゐた姿を見た者があるといふので妻ナツは三日四倉署に出頭捜索方を願ひ出でたが、海岸に投身情死を遂げたものらしい

和蘭の取引長中なかなか弓絆ま  
晩秋蠶の掃立に忙殺され早や  
まは二眼、普通は目下掃立中の  
ものもあるが厚紙に於て三四割方  
の多きを見難况は何れも良好なれば  
豊作と相俟つて元氣頗る旺盛なり。  
**▲原町秋蠶取引況** 原町字長橋古物商彦四郎次男清  
野次郎(二八)は三日夜八時頃父  
から「客に親切にせよ」と意見さ  
れたのに憤慨し下駄を以て實父  
の面部其他を殴打し四日平署に  
呼び出され説諭を受けたが同人は  
性質の良くない青年であると

# 妻子を捨てて

## 製糸工女と家出

### 四倉海岸で情死か

村分會の射擊場を新設せんと  
計劃し場所の選定中なりしが  
適當の處なき爲め其儘となり  
て延引せしに今回同村北泉村  
海岸に適當の場所を見出した  
れば近く原警察署長の臨檢を  
願ひ許可あり次第其筋に許可  
申請をなす筈なり。

月三日午前十一時半頃原町興  
業場へ乗込途中國道高平村字  
高松ビクニ澤に差蒐りたる際  
急カーブなるため棍を取損じ  
三間余ある水田に墜落し乗客  
の一名が脳部其他に重傷を負  
ひ原町外科醫院に入院手當中

▲相馬晚秋蠶況 原町

實父を下駄で殴る

射擊場新設  
高平分會

自動車墜落して  
乗合重傷

相馬郡中村町中村乗合自動車  
は關東浪曲親睦會巡業一行を  
三臺の自動車に分乗せしめ九

相馬郡高平村在郷軍人分會に  
ては鈴木分會長が昨年以來同

月明るく氣澄む鎮守の杜より  
稻田をわたるそよ風につれて  
とう／＼と鳴る太鼓、嫋々と  
響く笛に和し今宵一夜と踊り  
唄ふ農村青年男女の歌聲を聞く  
時民衆大衆に還るの念を強く  
うし微笑せざるを得ない、農  
民の持つ唯一の娛樂、盆踊り  
も數年來當局の無理解により  
禁壓せられてゐた、青年の都  
會集中熱が昂まり、農村の疲  
勞次ぎ、農村に娛樂を與へよ  
と叫ばれて近時漸く彼等自身  
が生み且育ぐみ彼等の心情の  
發露であり抑壓に對する不平  
の調節辯であつた民謡に對し  
世間の注視する所となつた。

新 移 築 轉 場 所	耳 鼻 咽 喉 科 問 専	花 門 平 町 南 町	特 約 店 大 平 屋 藥 店	治 強 淋 夕 新 力 劑 ジ リ ン	二 合 白 瓶 二 十 五 錢 (空 瓶 交 換 仕 候)	平 驛 前 電 話 二 三 七	コ ラ ノ ス ケ 粕 取 燒 耐 發 賣	阿 部 石 炭 商 店	磬 城 正 味 十 貫 目 入 壹 俵 金 六 十 五 錢
平 町 仲 田 町 七 一	平 町 仲 田 町 七 一	上 田 外 科 醫 院	電 話 一 二 九 番	(定 價 一 圓 二 圓 三 圓 <small>として奏効頗る顯著而も副作用 絶無、廣く賞讃ざる所以也</small>	永 山 酒 造 店 總 發 賣 元 電 話 二 〇 七 番	平 町 四 丁 目 平 驛 通 り	電 話 二 三 七	大 箱 壹 箱 金 貳 圓	配 達 ハ 一 俵 ヨ リ イ タ シ マ ス
電 話 五 九 五 番	電 話 一 二 九 番	電 話 四 六 二 番	電 話 二 〇 七 番	電 話 二 三 七	電 話 二 三 七	電 話 二 三 七	電 話 二 三 七	電 話 二 三 七	◎ 磐城炭礦ノ最上石炭 正味十貫目入 壱俵 金 六十五錢
◎ 日本デ一番評判ノ良イ東京瓦斯コーグス コーグス 壱 俵 金 壱圓 參拾錢	◎ 木炭ノ三倍御徳用ナ 玉炭 大箱壹箱 金貳圓	◎ 木炭ノ三倍御徳用ナ 玉炭 大箱壹箱 金貳圓	◎ 木炭ノ三倍御徳用ナ 玉炭 大箱壹箱 金貳圓	營業種目 石炭、コーグス、玉炭	磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル	磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル	磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル	磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル	磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル

第六回 楽悅・滿豐・壯勇無比の名篇

治文小川市・江直見伏・濱田澤演主・保富田油作原

# 新歌舞伎 花道

松竹大作モタン映畫の粹  
監督野村芳亭  
島田嘉七・八雲恵美子・奈良健養・結城一郎・呂田祐吉・青山萬里子 主演  
戀のキヤンブ  
男はどんな戀をするか?  
女はどんな戀をするか?  
明るいユーモラスな此名  
畫で御研究を願ひます  
來週上映 坂妻のレヴュ  
右太プロ松竹提供  
闇後日活行進曲十五卷  
市川右太衛門 吉野笠子  
劍俠物語  
捕物  
これぞ大劍俠映畫の名を  
もつてす「龍攘虎撲」の大  
壯觀・薄幸の劍士をめぐ  
る捕物劍涙史である。

**安 全 第 一**

**諸債券、公債類の御用は是非迅速簡易を  
モットーとする弊店を精々御利用下さい**

**課 目**

**營 業 勸業債券**

**復興債券**

**質物一般取扱**

**公債 其他**

**兩 替**

**金融**

**多 田 町 大 町 工 大 町 平**

**井 商 店**

**肺 病 肺 膜 専 門 藥**

**藥 價** **十一日分** **七〇〇**

**卅三日分** **二〇〇〇**

**試用者の感謝と、好評なる賣行きとは其優秀なる効果を  
立證せり。**

**故に輕症期に於ける人々よ、直ち服用し以て一刻も早く  
健康体に復せよ。**

**則ち本品の現出は、病者を救ふに偉大なる福音なり。**

**説明書密送す、御申入あれ。**

**代理店** **五丁目角** **平町** **田町** **(電話五二三番)**

# 夏服 はなかや 下

軽快で瀟洒な夏服の季節となりました  
新製のレデーメードグ  
ラマに取扱ひ申します

## ◎輕裝上衣

黒セル 6.50ヨリ

カシミヤ 9.50ヨリ

パンピス 5.00 ヨリ

○白チョッキ 200

○白ツボン 2.00

3.00 ♂ ♀

卷之三

日本ハサワ洋服店

平二 電話 203

なかや洋服店